

SI マネージャーによる SI システム設定マニュアル

【マスターステーションの設定】

- (1) ドライバのインストール
- (2) PC 側の COM ポート設定

【SI マネージャーのインストール】

【SI マネージャーの初期設定】

【大会設定】

【ステーションの準備・設定】

- (1) マスターステーションの設定
- (2) SI ステーションの設定

【SI カードデータの読み込み設定】

【SI カードデータの読み込み】

【その他：SI システム機材の基本操作】

- (1) マスターステーション
- (2) SI ステーション
- (3) SI カード
- (4) オフカード
- (5) スティック

【マスターステーションの接続】

各TXに配置する「SI ステーション」の設定や、「SI カード」のデータ読み出しは、全てPCに接続した「マスターステーション」を使って行います。

マスターステーションはUSBでPCに接続します。

(1) ドライバのインストール

マスターステーションをPCに接続すると、接続ウィザードが開始されます。ダウンロードしたドライバを指定してインストールします。(通常のPC接続装置と同様です)



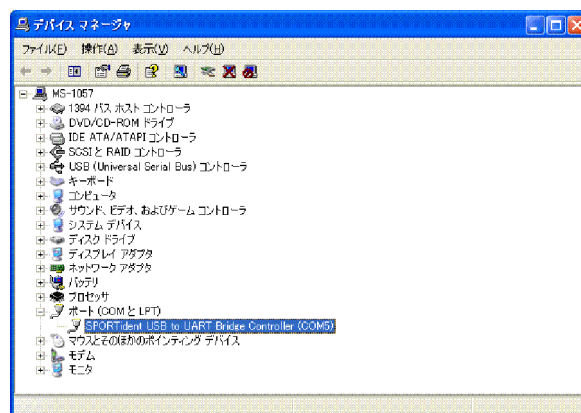
※画像は Windows XP のものです

(2) PC 側の COM ポート設定

接続されたマスターステーションのCOMポートを設定します。この後「SI マネージャ」の初期設定を同じ値で設定します。

①ポート番号の確認 (同じPCでも接続する度に変わる場合があります)

コントロールパネルより、「SPORTident USB to UART Bridge Controller」の「COM」番号を確認する。(COM ●) と表示されています。



②ポート設定

「SPORTident USB to UART Bridge Controller」のプロパティを選択し、各項目を設定します。「ポート設定」タブを開き、通信速度（一番上の項目）を設定します。

あまり速すぎるとエラーとなることがあります。いろいろ試した結果「38400ビット/秒」がよさそうです。

他の項目はそのままでもかまいません。

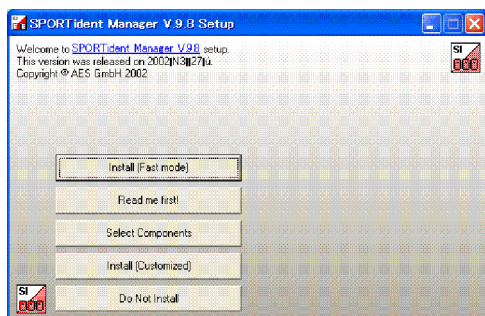
PC側の確認項目値

- ・ポート番号 : COM ●
- ・ビット/秒 : 38400
- ・データビット : 8
- ・パリティ : なし
- ・ストップビット : 1
- ・フロー制御 : なし

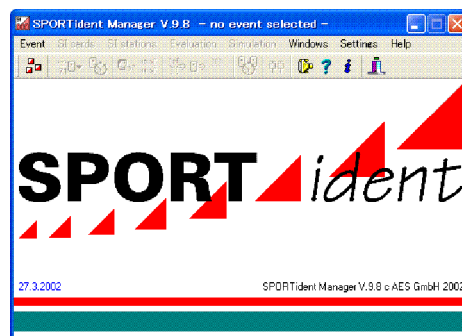


【SI マネージャーのインストール】

セットアップ画面に従ってインストールして下さい。特に難しい内容はありません。



インストール画面



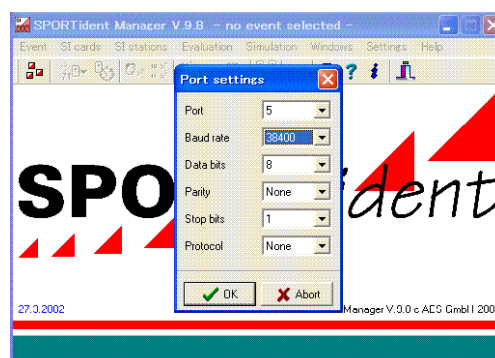
ソフト起動画面

【SI マネージャーの初期設定】

ソフトを起動し、まず PC 側のポート設定と同じ値をソフト側に設定します。

[Setting]－[Serial port]を選択して設定画面を出し、PC 側の確認項目と同じ値を設定します。

ソフト側の設定値		PC 側の確認項目値
• Port	●	• ポート番号 : COM ●
• Baud rate	38400	• ビット/秒 : 38400
• Data bits	8	• データビット : 8
• Parity	None	• パリティ : なし
• Stop bits	1	• ストップビット : 1
• Protocol	None	• フロー制御 : なし



〔重要項目〕

- PC 側のポート設定で、通信速度は「38400ビット/秒」とする。
- PC 側の COM ポート番号は、接続する度に変わる場合があります。毎回確認して、SI マネージャーの Port 番号をそれにあわせること。

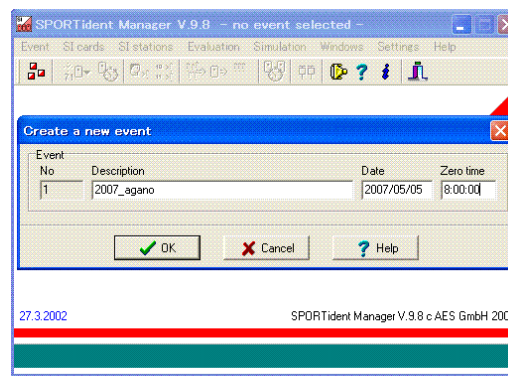
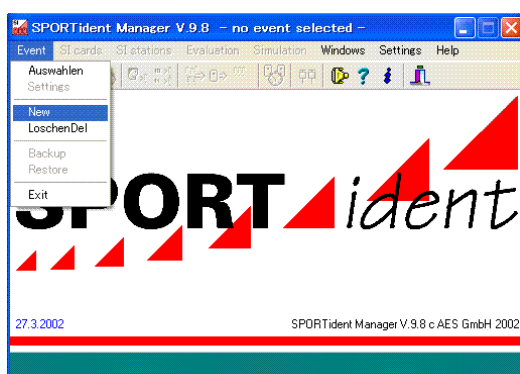
【大会設定】

大会内容（大会イベント）を設定します。SIステーションも、ここで設定します。

[Event]－[New]からイベント名を設定します。

- ・「Description」：大会名(任意)
- ・「Date」：大会日
- ・「Zero time」：基準時間 ←

この時間で、集計ソフト「ARDF_SI」と集計タイムを同期させます（12時間制）



※このデータは SI マネージャーをインストールしたフォルダ内に「SIWK****」というフォルダで保存されます。

「Zero time(基準時間)」とは？

SIステーションの内部時計は24時間制ですが、SIカード(タイプ5)は、12時間制の時間でしか記録できません。そのため 午後12時 を跨ぐ競技では、正常に時刻が記録できません。

そこで「Zero time(基準時間)」を設定し、その時刻を「00:00:00」として相対的な時刻がSIカードに記録されます。

(例) Zero time = 08:00:00 に設定した場合

実際の時刻	SIカードに記録される時刻
08:00:00	→ 00:00:00
10:34:56	→ 02:34:56
13:12:34	→ 05:12:34

そのデータを ARDF 集計ソフト「ARDF SI」で読み込んだ際、実際の時刻へと戻して集計します。そのため「ARDF SI」の設定項目にも「基準時間」がありそこに同じ時刻を設定しておくことで時刻を同期させます。

【ステーションの準備・設定】

各 TX やスタート、フィニッシュに配置する「SI ステーション」の設定を「マスターステーション」を介して行います。

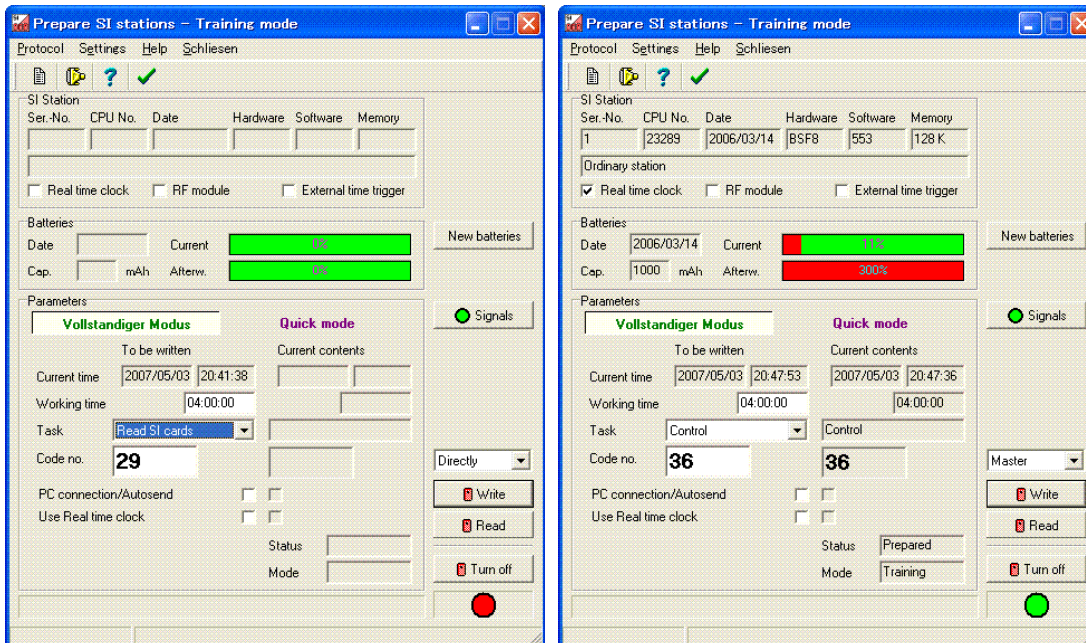
その際「SI ステーション」と「マスターステーション」の接続に「スティック」（両ステーションの読み取り穴を貫通させるフェライト棒）を用います。

ステーションとその機能	
マスターステーション	<ul style="list-style-type: none"> • PC に USB にて接続し操作する • SI ステーションの設定 • SI カードデータの読み出し
SI ステーション	<ul style="list-style-type: none"> • 密封構造(防水)でスティックを介してマスターステーションと接続して設定を行う • クリア、チェック、TX、フィニッシュ等に使用する • 電源 off には「オフカード」を使用

[SI station] - [Prepare] - [Training mode]で ステーションの設定画面を出します。



主な表示内容		
表示上部	SI Station	マスターステーションの情報
表示中部	Batteries	バッテリー情報（あまりあてにならない？）
表示下部	Parameters	「Current contents」（右側）：読み込んだ設定内容 「To be written」（左側）：書き込み設定内容



主な操作ボタン（右側の欄外エリア）	
Master / Directly 切替え	Master : SIステーションの操作 Directly : マスターステーションの操作
Write	To be written の設定内容を書き込む
Read	設定内容を読み込み Current contents に表示
Turn off	SIステーションの電源 off (オフカードでも可)

(1) マスターステーションの設定

「Directly」で操作する

特に設定の必要はありませんが、以下のものをご確認ください。

- ・「Current time」(時刻)・・・PCの時刻が書き込まれます
- ・「Task」・・・・・・・・・・Read SI card
- ・「Code no.」・・・・・・・・・・30以下の数(任意)

(2) SIステーションの設定

「Master」で操作する

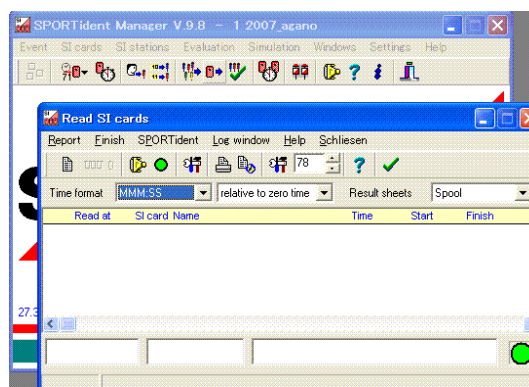
SIステーション本体は同じモノですが、設定を変えることでそれぞれの機能を持たせます。(既にテプラで表示してある機能となっているか、要確認！！)

使用場所	機能	Task	Code no.
スタート	クリア	Clear (completely)	1
	チェック	Check	2
各 TX	TX	Control	31 (TX1) ~ 35 (TX5) ,36 (ビーコン)
フィニッシュ	フィニッシュ	Finish	3 ~

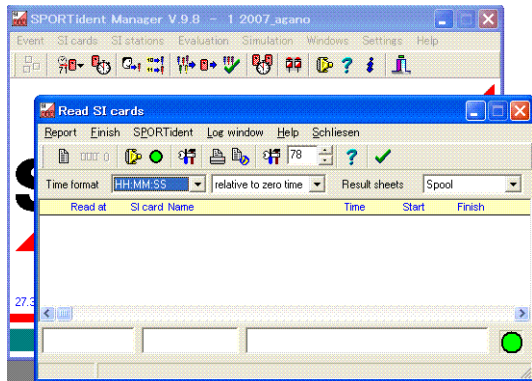
【SIカードデータの読み込み設定】

あらかじめ、SIカードを読み込む毎にデータをファイルに追加更新していくように設定しておきます。それによってできた生データ (csv ファイル) を集計ソフト「ARDF SI」に読み込んで集計します。(読み込みと同時に集計が完了します)

① [SI card] - [Read] でカード読み出し画面を出します。



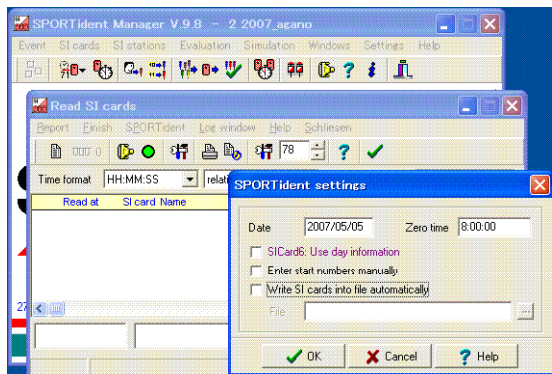
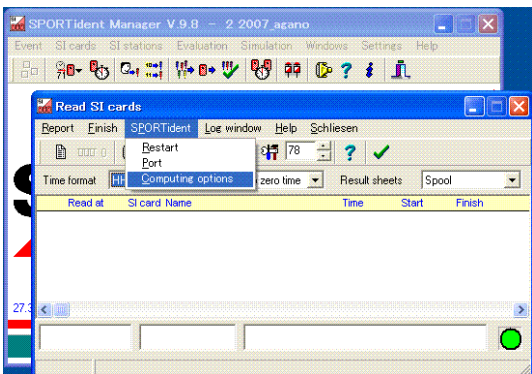
③ 「Time format」を「HH.MM.SS」とします



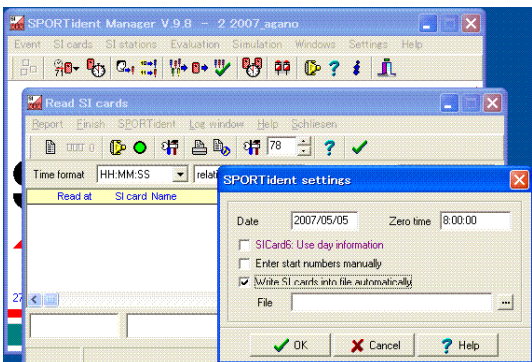
●● 重要!! ●●

この format を間違えると、正常に集計されません。今まで最も多かったトラブルです。

④ データファイル設定：[SPORTident]－[Computing options]で設定画面を出します。

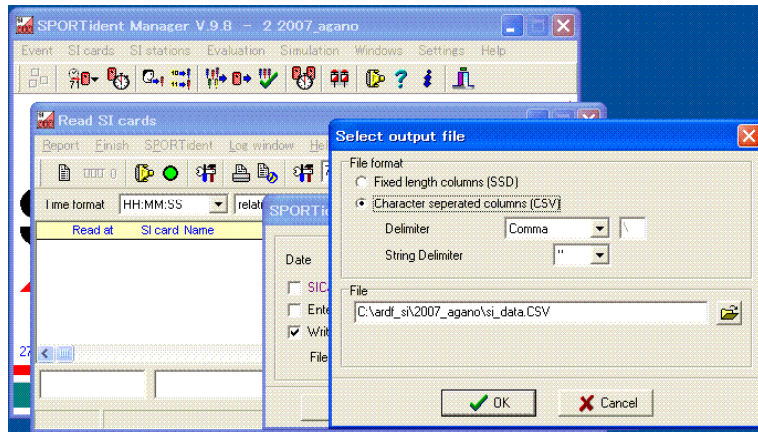


- Date：競技年月日が表示されています
- Zero time：基準時間が表示されています



- 「Write SI cards into file automatically」にチェックを入れる
(これにより、SIカードを読み込む毎にデータをファイルに追加更新する)

- File：SIの生データとなるファイル名が表示されます
ボックス後ろの[...]をクリックすると設定画面が出ます



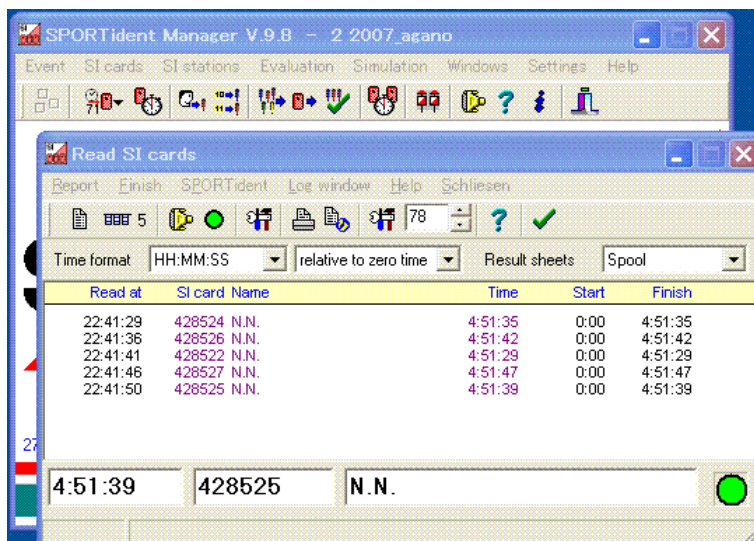
- ・「File format」は「Character separated columns (CSV)」を選択します
 「Delimiter」は「Comma」を選択します
 「String Delimiter」は「"」を選択します
- ・「File」はフォルダ名込みでファイル名を設定します

【SI カードデータの読み込み】

フィニッシュした選手から回収した SI カードのデータを読み込んでいきます。それと同時にそのデータは前述のファイル (CSV ファイル) に追加上書きされていきます。

① [SI card] - [Read] でカード読み出し画面を出します。

② 回収した SI カードをマスターステーションに差し込んで読み込んでいきます。読み込みは、LED と「ピッ」という音で確認できます。



③ SI カードからデータを読み込む毎に、設定したファイルにデータが書き出されていきます。(そのファイルはエクセル等でそのまま確認することができます)

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "SI01.csv". The data is organized into columns labeled A through S. The columns are: A (Stno), B (SI card), C (Read at), D (Clear punch), E (Check punch), F (Start punch), G (Finish punch), H (Name), I (NoName), J (Club), K (No1), L (Punch1), M (No2), N (Punch2), O (No3), P (Punch3), Q (No4), R (Punch4), and S (No5). The rows contain numerical data for each of these categories, representing individual SI card records.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	Stno	SI card	Read at	Clear punch	Check punch	Start punch	Finish punch	Name	NoName	Club	No1	Punch1	No2	Punch2	No3	Punch3	No4	Punch4	No5
2	28470	228470	2007/5/5 11:28		2:14:35		4:54:43	N.N.			35	2:51:41	32	3:31:40					
3	28547	228547	2007/5/5 11:28		2:55:44		4:57:44	N.N.			31	4:12:16	36	4:56:26					
4	28529	228529	2007/5/5 11:28		2:53:05		5:30:55	N.N.			35	3:47:44	31	4:34:39					
5	28438	228438	2007/5/5 11:28		3:01:54		4:51:51	N.N.			31	3:39:35	36	4:50:20					
6	28538	228538	2007/5/5 11:29		2:49:35		4:51:08	N.N.			31	3:18:10	36	4:50:09					
7	28468	228468	2007/5/5 11:29		2:30:35		5:19:30	N.N.			35	3:26:48							
8	28566	228566	2007/5/5 11:30		3:02:06		4:57:23	N.N.			31	3:37:45	35	4:06:53	32	4:31:14	36	4:56:09	
9	28440	228440	2007/5/5 11:30		3:06:54		5:11:08	N.N.			31	3:37:39	36	5:07:04					
10	28519	228519	2007/5/5 11:30		3:20:56		5:33:49	N.N.			31	4:12:22							
11	28428	228428	2007/5/5 11:30		2:55:34		4:39:07	N.N.			31	3:32:49							
12	28529	228529	2007/5/5 11:31		2:53:05		5:30:55	N.N.			35	3:47:44	31	4:34:39					
13	28470	228470	2007/5/5 11:31		2:14:35		4:54:43	N.N.			35	2:51:41	32	3:31:40					
14	28383	228383	2007/5/5 11:34		3:16:09		5:04:00	N.N.			31	4:01:49	36	5:01:36					
15	28421	228421	2007/5/5 11:34		3:00:39		4:55:30	N.N.			32	3:49:27	31	4:26:42					
16	28425	228425	2007/5/5 11:34		2:25:40		4:20:01	N.N.			35	3:01:33	32	4:04:31					
17	28414	228414	2007/5/5 11:34		3:20:45		5:10:02	N.N.			36	5:07:21							
18	28749	228749	2007/5/5 11:35		3:15:27		4:40:35	N.N.			35	3:44:45	34	4:16:20					
19	28836	228836	2007/5/5 11:35		2:45:41		5:14:52	N.N.			34	4:05:27							
20	28846	228846	2007/5/5 11:35		2:56:01		4:52:32	N.N.			31	3:49:52	36	4:51:09					
21	28911	228911	2007/5/5 11:35		3:12:07		5:24:36	N.N.			31	4:01:09							
22	28796	228796	2007/5/5 11:35		3:07:18		5:05:15	N.N.			35	4:38:55	36	5:09:53					

④そのデータを集計ソフト「ARDF SI」で読み込んで集計完了です！

【その他：SI 機材の基本操作】

（１）マスターステーション

- ・「SI カード」からのデータ読み出しと、「SI ステーション」の設定に使用します。
- ・USB ケーブルで PC と接続して行います。

（２）SI ステーション

- ・各 TX でのチェックなどに使用します。
 - 穴に SI カード差し込むことでチェックされ、記録が SI カードに記録されます。
 - 防水で多少の雨でもそのまま使えます。
 - ※各ステーションにはシールが貼ってありますが、設定を変えることでどの TX でも、また他の用途にも変更できます。
- ・TX 以外では以下のことに使用します。
 - クリア : 呼び出し地点での S I カードの初期化する。
 - チェック : クリアの後に行う、S I カードのチェックする。
 - フィニッシュ : ゴール地点でのゴールタイムの記録する。
- ・電源 ON-OFF のスイッチはありません。
 - ON : S I カードを差し込むことで電源が入ります
 - OFF : 「オフカード」を差し込むことで電源が切れます。
- ・各種設定は「スティック」を使用して「マスターステーション」と接続し、PC によって行います。

（３）SI カード

- ・各ステーションに差し込んだときの情報が記録されます。
- ・競技使用後は選手の汗でゴムベルトが汚れます。そのまままとめてバケツ等の中で軽く水洗いして干せば OK です。（ゴムベルトを外して洗う等の手間は不要です）

（４）オフカード

- ・「SI ステーション」や「マスターステーション」の電源を切るときに使います。
- ・「オフカード」を差し込むことで電源が切れます。

（５）スティック

- ・「SI ステーション」と「マスターステーション」の接続に使用します。
- ・「マスターステーション」の上に「SI ステーション」を重ね、「スティック」で穴を貫通させます。